

精神神経医学講座（臨床遺伝学講座） スタッフ

特任教授 石黒浩毅 連絡先：[hishiguro@yamanashi.ac.jp](mailto:hishiguro@yamanashi.ac.jp)

教授 鈴木健文 連絡先：[stakefumi@yamanashi.ac.jp](mailto:stakefumi@yamanashi.ac.jp)

ホームページ：

<https://clinical-genetics.yamanashi.ac.jp/>

<http://www.med.yamanashi.ac.jp/clinical/psychiat/>

精神神経医学講座ならびに臨床遺伝学講座では精神医学の臨床研究と並行して、精神・こころを形成する「脳」の働きを明らかにするために、ヒトの血液や脳試料、そしてモデル動物を用いて、分子生物学的な手法による基礎研究も行っています。こころ、つまり性格や行動、精神疾患に関わる脳のメカニズムは少しずつ明らかにされてきたものの、脳科学には未知の世界が広がっています。私たちの講座では、皆様が医学の真実を見極められる、真摯に生命に向き合える人材へ育てていただきたいと考えています。また、ゲノム医療と精神科医療のハイブリッド診療は全国でも行っている施設はほとんどなく、クライアントの精神科的分析、診断、そして心理支援について新しい医療を作ることが当講座の使命と考えています。

皆さんは将来、メンタルヘルスや脳科学、あるいはゲノム医療に少なからず関わることとなるでしょう。その時、精神を脳の機能と捉えられること、科学的・生物学的に理解していることが必ず役に立ちます。将来の臨床や医学研究を行う上で必要な基本的な知識と実験技術を取得し、国際交流の経験ができるような支援を考えています。忙しい勉学や部活動の傍ら、こころに興味を持ち一緒に楽しく語りあえる学生さんを募集します。

研究室の主なテーマ

<臨床研究> 1. 周産期および産後におこる精神疾患の検査・治療・支援方法の検証  
2. 遺伝子・染色体疾患患者におこる急激退行症候群の生物学的解析 3. 遺伝子・染色体疾患患者の小児期から AYA 世代への移行期支援の課題抽出と支援方法の検証  
※臨床研究についてはベッドサイド研修の資格が得られるまでは 匿名化された医学情報を解析するなどに限定されます。

<基礎研究> 1. 統合失調症や気分障害、物質依存の病態関連遺伝子の同定（ゲノム研究、死後脳のトランスクリプトーム解析、培養細胞を用いた遺伝子機能解析、遺伝子改変マウスを用いた薬理行動解析・脳組織学的解析）